

アー写デザイン構成案(要約)

1. コンセプト

SNSによるバイアスの変異:情報の偏りが個人の認識を侵食し、変異させていく過程を可視化する。

2. 世界観

Y2Kポップ × 潜在的不穏:華やかなY2Kテイストの裏側に、バイアスの恐ろしさを象徴する違和感を潜ませる。

3. 主要なビジュアル演出

- **デジタルバグ**:一部にエラー画面やモザイク、グリッチを用い、認知の歪みと情報感染を表現。
- **Y2Kスタイル**:ビビッドな色彩と無機質な素材で、親しみやすい中高生に刺さる「今っぽさ」を演出。
- **シュールリアリズム**:日常に非日常を淡々と配置し、心理的な異化効果を強調。

4. 象徴モチーフ

トッケイヤモリ:一度食らいついたら離れない「執拗なバイアス」の象徴。無意識下に忍び寄る捕食者として描く。

参考画像は下記になります。

→トカゲの視線のみを被写体(人物)に向ける、トカゲの口角を上げる



※参考画像











